

教育だより新潟 **学校** **家庭** **地域** のところをつなぐ



vol.27

- 家庭・学校・地域ので、いじめを許さない子どもを育てよう(1面)
- トキめき新潟国体、トキめき新潟大会について(2面・3面)
- インフォメーション(4面)

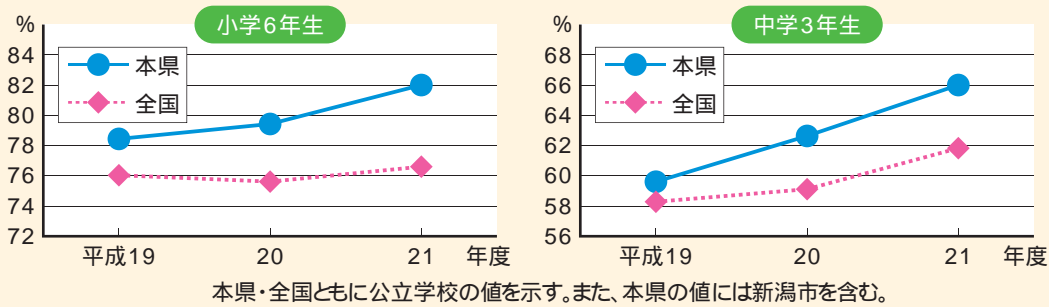
平成21年(2009年)12月4日発行 新潟県教育委員会

家庭・学校・地域ので、いじめを許さない子どもを育てよう

本県では、平成19年度からいじめ根絶県民運動に取り組んでいます。この間、学校をはじめ社会全体で様々な取組が行われるとともに、下の図に示すように、本県の子どもたちのいじめ根絶に対する意識が着実に高まってきました。

「いじめはどんな理由があってもいけないことと思う」割合

(全国学力・学習状況調査より)



子どもたちの意識が全国に比べて高まったのは、いじめについてみんなで考える場をもったこと、PTAや関係団体をはじめ、社会全体で積極的な働きかけが行われたことが大きな原動力になりました。

今年度の県民運動のテーマは『絆』です。

家庭・学校・地域の中で、人と人が認め合い、かかわり合い、支え合うことによって生まれる『絆』を実感することにより、いじめを許さない子どもを育てていきたいと願い、学校や地域で取組を進めています。

「いじめ根絶県民の集い」(平成21年8月9日開催)より

仲間や家族、地域との絆をテーマに、出演者が様々な形でメッセージを発信しました。



県立新潟南高等学校 演劇
「人と人のコミュニケーションで大切なことは何だろう。」



県立柏崎養護学校高等部 バンド演奏
「社会の中でつながりを大切に生きていこう。いっしょに。」



新潟市立内野小学校・新潟大学教育学部 音楽劇
「みんなのためにできることを考えよう。」



高校生シンガーの酒井 杏さん親子
「家族で考え、家族に見守られながら歌ってきました。」



柏崎市伝統芸能 綾子舞
「地域の方から教えられたことはたくさんあります。」



大切なあなたへ伝えたい言葉
「家族へ、仲間へ、自分の育った地域へ、ありがとう。」

人と人との絆を実感することにより、子どもたちの社会性がはぐくまれていきます。県内の小・中学校では、連携して社会性をはぐくむための検討を行い、異年齢交流活動や様々な体験活動、「こんな時どうすればよいか」というスキルを学ぶ学習などに取り組んでいます。学校からの働きかけに加え、家庭・地域での様々な体験により、子どもたちの社会性がはぐくまれていきます。

子どもたちにはぐくみたい社会性の一例

- 自分は誰かの役に立っているという思いをもつ。
- 自分の思いや願いを相手に伝える。
- 互いの思いや気持ちを察し合い、理解し合う。
- 異なる考えを互いに尊重し合い、生活の中で起こる問題をよりよく解決する。

いつでも気軽に相談してください。いじめ相談窓口

- 全国統一のいじめ相談電話(毎日24時間) ☎0570-078310
- 新潟県いじめ相談電話(毎日24時間) ☎025-526-9378 ☎0258-35-3930 ☎025-231-8359
- 県立教育センター悩みごと相談テレホン(平日9:00~16:00) ☎025-263-4737
- 新潟市いじめSOS電話(平日9:00~17:00) ☎025-222-0110

ストップ・ザ・いじめ ~やめよういじめ 許さないいじめ~

いじめ根絶にいがた県民会議

